

# Daily Report (号外)

## ～7月の米雇用統計について～

### 結果概要

米国労働省が8月2日に発表した7月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+11.4万人と市場予想(同+17.5万人)を大幅に下回る結果となりました。なお、6月の非農業部門雇用者数は同+17.9万人(速報値:同+20.6万人)、5月は+21.6万人(速報値:同+21.8万人)に下方修正されました。

業種別では教育・ヘルスケア業が同+5.7万人(前月:同+7.9万人)と伸びが鈍化し、情報が同▲2.0万人(前月:同+0.1万人)、金融が同▲0.4万人(前月:同+1.0万人)と減少に転じるなど、幅広い業種で労働需要の緩和を示す結果となりました。

失業率は4.3%と市場予想(4.1%)を上回り、4ヶ月連続で上昇しました。

平均時給は前年同月比+3.6%と市場予想(同+3.7%)を下回り、3年ぶりの低い伸びとなりました。なお前月分は同+3.8%(速報値:同+3.9%)に下方修正されました。前月比は+0.2%と市場予想(同+0.3%)を下回り、前月(同+0.3%)から伸びが鈍化しました。

労働参加率は62.7%と市場予想(62.6%)を上回り、前月(62.6%)から上昇しました。

### 市場反応(米国市場)

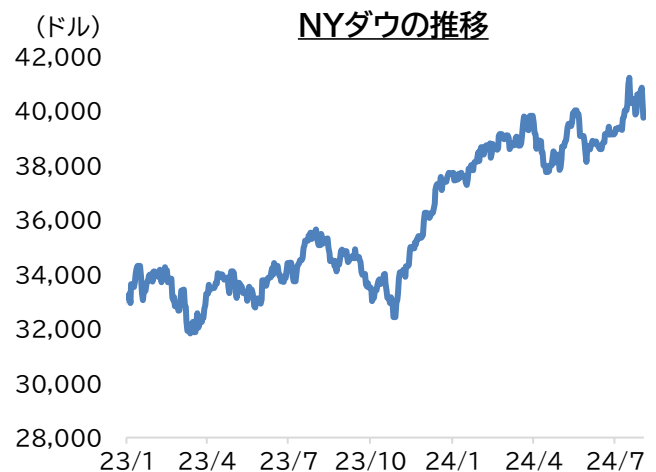
2日の米国株式市場は揃って大幅に下落しました。

米雇用統計で想定以上の労働市場の軟化が示唆され、景気後退への懸念が急速に強まったことで幅広い銘柄に売りが広がり、NYダウ平均株価は前日比▲1.51%、S&P500指数は同▲1.84%、ナスダック総合指数は同▲2.43%となりました。

2日の米国債券市場は、低調な米雇用統計の結果からFRBが9月に0.50%の大幅利下げに踏み切るとの観測が強まったことで買いが優勢となり、10年債利回りは前日比▲0.19%の3.79%程度で終わりました。

2日の米ドル/円は、米長期金利が急低下し日米金利差が縮小したことや、景気後退懸念による安全資産としての円需要が強まったことで円買い・ドル売りが優勢となり、前日比2円83銭円高ドル安の146円53銭程度で取引を終えました。

2日の原油先物市場は、米雇用統計の軟化により米景気の下振れリスクが意識され、原油需要の伸び悩み懸念が広がったことで売りが優勢となり、WTI原油先物9月限は前日比▲3.66%の1バレル=73.52ドルとなりました。



## 評価・今後の見通し

7月の米雇用統計は、失業率が前月から上昇したことに加え、非農業部門雇用者数や平均時給の伸びが前月から減速したことで、労働市場の冷え込みと賃金インフレの鈍化を示唆する結果となりました。

市場では、7月の雇用統計の結果を受け、景気悪化への懸念が増大したことで、9月のFOMCでFRBが利下げを実施することがほぼ確実視されました。

市場の予想する利下げ時期は、9月FOMCで政策金利を25bp引き下げる確率は31%程度、50bp引き下げる確率が69%程度と利下げを完全に織り込んでおり、さらに11月FOMCにて2会合連続での利下げも織り込むなど、年内に大幅な利下げに踏み切るとの観測が強まっています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的には8月5日発表のISM非製造業景気指数、13日発表の米生産者物価指数、14日発表の消費者物価指数、15日発表の米小売売上高など引続きインフレや景気動向に関連する指標に注目が集まると考えます。

FRBの金融政策によって、インフレの抑制と米景気のソフトランディングの両立が可能との見方が強まっていたものの、今回の雇用統計の結果を受け景気が想定以上に減速しているとの見方が強まりました。市場の注目は景気動向の見極めに移っており、短期的には経済指標次第の様相が強まるボラティリティの高い相場が継続するとみています。

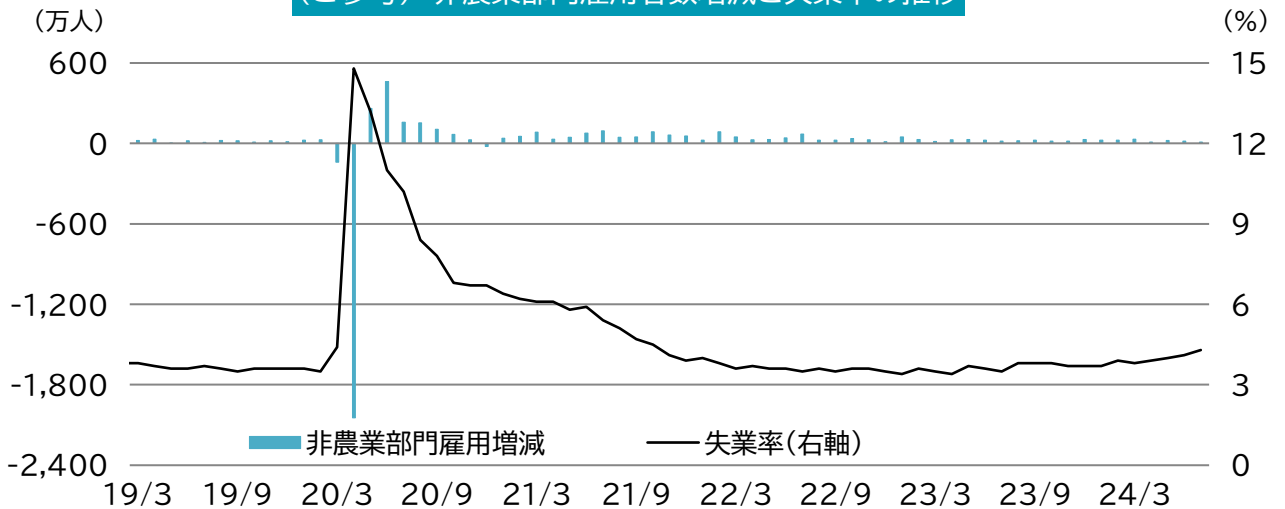
# Daily Report(号外)

## (ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	24/2	24/3	24/4	24/5	24/6	24/7
非農業部門	+23.6	+31.0	+10.8	+21.6	+17.9	+11.4
鉱工業部門	+1.5	+3.3	-0.3	+1.2	+1.1	+2.5
建設業	+2.4	+3.7	-0.5	+1.3	+2.0	+2.5
製造業	-0.9	-0.6	+0.7	+0.3	-0.9	+0.1
資源・鉱業	+0.0	+0.2	-0.5	-0.4	+0.0	-0.1
サービス部門	+16.6	+19.9	+11.1	+19.4	+12.5	+7.2
卸売業	-0.4	+1.0	+0.7	-0.2	+0.9	+0.4
小売業	+2.3	+1.9	+1.4	+0.8	-1.2	+0.4
輸送・倉庫業	+3.1	+0.5	+2.1	+2.6	+2.2	+1.4
情報	-0.3	+0.2	-0.3	-0.1	+0.1	-2.0
金融	-0.7	+0.4	-0.3	+1.2	+1.0	-0.4
専門・ビジネスサービス業	+0.6	+1.7	-1.7	+5.5	+0.2	-0.1
人材派遣業	-1.6	-0.1	-2.4	+1.4	-2.3	-0.9
教育・ヘルスケア業	+8.0	+7.6	+9.8	+6.9	+7.9	+5.7
娯楽・宿泊業	+2.6	+5.4	-0.9	+1.8	+0.1	+2.3
その他	2.9	1.3	2.7	-0.5	3.6	0.3
政府部門	+5.5	+7.8	+0.0	+1.0	+4.3	+1.7
失業率(%)	3.9	3.8	3.9	4.0	4.1	4.3
平均時給(前年同月比、%)	4.3	4.1	3.9	4.0	3.8	3.6

## (ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2024年7月 (出所)Bloomberg